

第1回袋井市総合計画審議会 議事録

| | | |
|-------------------|---------------------------------------------|----------|
| 会議名 | 第1回 袋井市総合計画審議会 | |
| 開催日時 | 令和元年6月28日（金）午後6時30分～午後8時45分 | |
| 開催場所 | 袋井市役所5階第1委員会室 | |
| 出席者 | 【委員】 | |
| | 一般財団法人 静岡経済研究所 主任研究員 | 岩間 晴美 |
| | 株式会社三菱総合研究所 主席研究員 | 北井 渉 |
| | フリーアナウンサー 県ラグビーフットボール協会 理事 | 澤木 久雄 |
| | 志村内科医院 院長（医師） 袋井市医師会 会計 | 志村 昌大 |
| | 一般社団法人 静岡県建設業協会 常務理事 | 杉保 聡正 |
| | 田圃家穂波 代表 | 鈴木 康功 |
| | 袋井市自治会連合会 会長 | 高橋 正則 |
| | お茶畑助産院 助産師・保健師・看護師 | 高橋 美穂 |
| | 県健康福祉部医療健康局 技監（保健師） | 土屋 厚子 |
| | ベトナム料理店経営者 | ドアンソントウン |
| | さわやか株式会社 代表取締役 | 富田 玲 |
| | 静岡文化芸術大学 文化政策学部芸術文化学科 教授 | 永井 聡子 |
| | 静岡理工科大学 学長 | 野口 博 |
| | パナソニック株式会社 アプライアンス社 ランドリー・クリーナー事業部 静岡工場 工場長 | 廣田 亮治 |
| | 【袋井市】 | |
| | 市長 | 原田 英之 |
| | 副市長 | 鈴木 茂 |
| | 教育長 | 鈴木 典夫 |
| | 【事務局】 | |
| | 企画財政部長 | 大河原 幸夫 |
| | 企画財政部企画政策課長 | 鈴木 佳三 |
| | 企画財政部企画政策課長補佐 | 鈴木 浩方 |
| 企画財政部企画政策課企画係長 | 久保田 邦彦 | |
| 企画財政部企画政策課企画係 | 山本 隆文 | |
| 企画財政部企画政策課企画係 | 藤江 祐子 | |
| ランドブレイン株式会社名古屋事務所 | 松波 克登史 | |
| ランドブレイン株式会社名古屋事務所 | 地本 真菜 | |
| 欠席者 | 【委員】 | |
| | 株式会社ライトハウスエデュケーション 取締役会長 袋井国際交流協会 会長 | 大場 規之 |
| | 静岡大学情報学部行動情報学科 教授・行動情報学科長 | 遊橋 裕泰 |

(議事)

- 1 開会
- 2 委員委嘱
- 3 あいさつ
- 4 総合計画審議会について
 - (1) 総合計画審議会の役割等
 - (2) 委員紹介
 - (3) 会長及び副会長の選出
- 5 議題
 - (1) 第2次総合計画後期基本計画策定方針及びスケジュール
 - (2) 袋井市の将来について
- 6 意見交換
- 7 事務連絡
- 8 閉会

(意見・回答)

1 開会、2 委員委嘱

【事務局】

定刻となりましたので、第1回袋井市総合計画審議会をただいまから開催させていただきます。本日、皆様にポカリスエットを用意していますが、こちらは袋井の水で作られ全国に販売されている商品です。またクラウンメロンを使ったお菓子も用意しております。初めに、委員を代表して株式会社三菱総合研究所主席研究員の北井涉さまに辞令書を交付させていただきます。なお、各委員の皆様にはお手元に配布させていただいています。

3 あいさつ

【原田市長】

皆さんこんにちは。皆さんから色々な意見を聞いていきたいので、リラックスした雰囲気でもこれからやっていきたいです。袋井市総合計画、計画自体は前期から流れており、今回、後半の5年間を作ることになっています。

日本もオリンピックがありますが、その先はどういう風になるのだろうと楽しみでもあります。委員についても、より優れた知見を持った方々をお願いをいたしました。お引き受けいただきありがとうございます。今日から数回、会議がありますが、皆さんは各分野の専門でお願いしていますが、岡目八目という言葉もあり、専門分野から離れた意見も求めています。今日、100歳になる方のお祝いに行きましたが、袋井では100歳以上の方が80人以上いて1000人に1人はいる計算になります。長寿の時代が始まっていると感じました。ラグビーワールドカップに向けて準備をしており、2000人以上の方から申し込みがあり、みんなで何かをやるのに丁度いい人口だと思います。いろいろな思いを込めた審議会、8万8000人の市民が感謝をしながらまちづくりに努めていけると思います。今後も是非よろしく願います。

4 総合計画審議会について

(1) 総合計画審議会の役割等

| | |
|-------|-------|
| 【事務局】 | 資料説明。 |
|-------|-------|

(2) 委員紹介

| | |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【北井委員】 | 北井です。私は、ふくろいTaskAruネットワークという高齢者就労を応援する仕組み作りのお手伝いをさせていただいて、そのご縁でお声掛けいただいたと思っています。その時に大人の社会科見学というものを企画しました。人材派遣センターやハローワーク等がある中、働きたいと思っている人は、どのような仕事でどのようなことをやっているかよく分からないので、見学会をやってみませんかと打ち合わせレベルで話していましたが、あっという間に実現しました。先程の市長のお話でも、ちょっとしたアイデアで実現できるまちなのだと思います、今回楽しみに参加させていただきました。よろしくお願いします。 |
| 【澤木委員】 | 澤木と申します。長い間、地元の放送局の現場で、県内のいろいろな地域のイベントに取材と同時に携わってきました。サッカーのスポーツイベントにも関わっていききました。個人的な思いですけども、2002年のサッカーワールドカップ以降、袋井は変わってきたと思います。ぜひともこれも含めて魅力でございまして、よろしくお願いいたします。 |
| 【杉保委員】 | 杉保と申します。県では交通中心にやってまいりましたが、主に防災をやってきました。平成22年から3年間、袋井市都市建設部に在籍していました。 また、平成22年度は東日本大震災があり、袋井の防災について2年間一生懸命頑張りました。その縁もあって市長から声を掛けていただいたと思っています。一生懸命発言しますのでどうぞよろしくお願いいたします。 |
| 【鈴木委員】 | 袋井市で農家をやっています、鈴木と申します。農業ということで、地元密着で消防団や自主防災隊などの話、家庭の面でいいますと、自分は小学生中学生の親でもあります。部活や送迎の時にいろいろな親の人達から話を聞きますので、そういう面でもお話をつなげられたらと思います。 |
| 【高橋正則委員】 | こんばんは。私は、この4月から袋井市連合会を担当することになりました。昨年度からコミュニティセンターになり、これから少し変えていかなくてはいけないとまちづくり協議会を立ち上げ、その中で、この地域はこうした方がいいといろいろ検討しているところです。2年目ですのでもう少し充実していけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。 |
| 【高橋美穂委員】 | お茶畑助産院助産師の高橋といいます。私は今、命の神秘を伝える助産師の会代表、LOVE BIRTHという助産師のグループで、小中学校に出向いて命の話をするグループ代表、mama+という子育て中のお母さん達のサークル代表、掛川助産師会の理事をしています。最近、みんなのぽっけという袋井市の子育てを一元化したHPを作ろうという動きがあり、そのメンバーにも入れてもらっています。 また、久しぶりに助産院を建設し、子育ての拠りどころとなるよう活動しています。 |

| | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>掛川助産師会と袋井市が協定を結んで下さって、その窓口となって活動しているので自分のフィールドについては学んでいるが、皆さんに教えてもらいながら他の分野にも興味関心を持って袋井市を盛り上げていけるメンバーの一人になりたいと思います。よろしくお願いします。</p> |
| 【土屋委員】 | <p>土屋厚子と申します。38年間、県の保健師を務めております。先程、静岡県は健康寿命が長いというお話がありましたが、一番やったださっているのは袋井市だと思っています。皆さんはご存知ないかも知れませんが、袋井市は国のスマート・ライフ・プロジェクトで賞をたくさん貰っていて、他県からもどのような活動をしているか知りたい、と問い合わせがあるくらいです。個人的には結婚したばかりの頃ですが、袋井市民病院で子どもを出産した思い出があります。どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| 【ドアン委員】 | <p>皆さんこんばんは。15年前にベトナムのハノイから来ました。よろしくお願いします。袋井市に住んでいて、袋井市にある会社に今も務めています。妻はベトナム料理店をしているが、私は学校に勤めながらベトナムで国際人材派遣の授業をやっています。このような審議会に参加させていただき光栄に思っています。専門知識が少なく範囲が狭いので、何か提案できるとは思っていないですが、違った目線で袋井市に貢献できればいいなと思っています。</p> |
| 【富田委員】 | <p>さわやか株式会社の富田と申します。袋井市に1店舗、第3号店を創業の地として建てました。創業社長も袋井に住まいを持っています。今年中に本社の大部分を袋井市に移転、建設中の総合体育館も弊社の名前を使っていたということ、袋井市にはお世話になって今後力になりたいと思っています。出店する意味というのは、業績もちろんですが、一番は地域の人を元気にする、そこに集って、団らんがあって、ハンバーグを食べて、地域に貢献できればと思っています。今回、選んでいただいたということで、それ以外でも力になっていきたいと思っています。よろしくお願いします。</p> |
| 【永井委員】 | <p>静岡文化芸術大学の永井と申します。研究は大学で教員をやっており、演劇と劇場を専門にやっています。舞台と観客がいかに連携して劇場文化を作るかということに魅力があり、劇場が地域の文化を作るうえでの起爆剤、地域を活性化する拠点になるということを考えています。大学には今年で11年、現場には10年以上携わってきました。知立市文化会館のオープンから、専門の方と市民の方が協力して実践的にやってきました。理論だけではなく実践こそ大事だと教育しております。まちの活性化の力になる、舞台は一見華やかに見えるが戦場であり、明日があるかないかというところで、自分のパフォーマンスを磨いて、切磋琢磨して、表現力をつけています。学生や一般市民が人生の生きがい、今後の自分との関わりを見つめ直す機会だと思います。専門領域の狭い世界ですが、一緒に文化を考えるきっかけとなればいいと思います。よろしくお願いします。</p> |
| 【野口委員】 | <p>こんばんは、静岡理工科大学の野口です。専門は建築、それを地域に広げる地域学ですが、過去にはコンクリート家屋の耐震工学等、いろいろな分野をやっていました。理工学全般を学び、それを活用して、できるだけ袋井に無かった文化や建築を作り、総合計画の審議に精一杯協力したいです。みなさんよろしくお願いします。</p> |

| | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【廣田委員】 | パナソニック静岡工場の廣田と申します。袋井市に創業1973年、現在46年になります。皆さんに支えられて洗濯機を製造してきました。袋井市にご協力いただきラッピングバス等我々の宣伝でもあり袋井市の恩返しという意味でも色々な活動をさせていただいています。私自身も袋井市に来て4年半、第二の故郷と思っています。一人一人のお客さまと製品を通してつながるということを目指しています。いろいろな視点でご協力できたらと思っています。よろしくお願いいたします。 |
| 【岩間委員】 | こんばんは、一般財団法人静岡経済研究所の岩間晴美と申します。静岡県内の地域、経済、産業について調査研究をしている機関で、行政の方から依頼を受けて調査、企業に取材に行ってお話を聞く等、実証的な調査研究をモットーにしています。専門分野は人口問題、女性の活躍推進、教育と幅広く調査研究しています。総合計画でも何かお役に立てればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。 |
| 【志村委員】 | 志村内科医院の志村と申します。私は静岡市出身で、平成15年に総合内科、小児科として開院しました。このような素晴らしい方々と意見交換ができることを非常に光栄に思っています。健康文化都市への戦略、微力ながら力になりたいと思います。よろしくお願いいたします。 |
| 【事務局】 | ありがとうございました。なお、本日も都合によりご出席できなかった2名を事務局より紹介させていただきます。株式会社ライトハウスエデュケーション取締役会長、袋井国際交流協会会長、大場規之委員、静岡大学情報学部行動情報学科教授、行動情報学科長、遊橋裕泰委員です。続きまして、当局のメンバーを紹介させていただきます。 |
| 【鈴木副市長】 | 副市長の鈴木です。副市長になって5年目になりました。見方を変えると楽しみなことでもありますが、私たちの仕事はものすごく守備範囲が広く、その中にITをどのように取り込んでいくかということが課題と考えています。上手く取り組んでいくと素晴らしい豊かな社会が実現できると思います。よろしくお願いいたします。 |
| 【鈴木教育長】 | こんばんは。教育長6年目になります。大学生の就職パターンが通年採用というニュースがありました。それを意識して進めていきます。よろしくお願いいたします。 |
| 【大河原企画財政部長】 | 大河原でございます。限られた時間の中ですが忌憚のない意見をいただくとともに、言い足りなかったという方へのフォローもしっかりとしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。 |
| 【事務局】 | 企画政策課のスタッフでございます。今後ともよろしくお願いいたします。 |

(3) 会長及び副会長の選出

| | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【事務局】 | 会長副会長の選任に移ります。事務局から会長を野口委員、副会長を杉野委員にお願いしたいと思います。 |
| 【全員】 | 意義なし |
| 【野口会長】 | 会長に選んでいただいて恐縮です。袋井市の総合計画の残り5年を見直すなかで、日本の社会の今後のあり方を考えています。元同僚の教授が、京都大学のこころの未来研究センターのセンター長になり、ICTを活用して、シミュレーションした結果 |

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>を見ると、2025年から2027年、おそらく地方分散型に変わる確率が高く、今までは東京大阪に比べ地方が遅れていると見られていたが大きく変わるだろうという結果でした。熱海でも地元企業が募集をして選ばれた方が活性化して大分、観光客が戻ってきたということもあります。袋井市もその可能性を秘めていると思います。今問題となっている人口減少、地域の格差、健康、幸福。地方分散型が望ましいとしっかり信じて、総合計画を練る必要があります。SDGsという目標ではまだほど遠いと思います。人生100年時代、107歳まで生きる確率が6割。特に地方創生が現実になりつつあるなかで、総合計画、しっかりやっていきたいと思います。よろしく願いいたします。以上です。</p> |
| 【杉保副会長】 | <p>副会長に選んでいただいて大変光栄です。会長をしっかりサポートしていい審議が出来るよう努めていきます。いろいろ言いたいこともありますが、審議の中でお話したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p> |

5 議題

- (1) 第2次総合計画後期基本計画策定方針及びスケジュール
- (2) 袋井市の将来について

| | |
|-------|-------|
| 【事務局】 | 資料説明。 |
|-------|-------|

6 意見交換

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【澤木委員】 | <p>そもそも論で確認させてください。資料3、地方創生と本市の総合計画、支援するような、補完するような考え方でよろしいでしょうか。10年のスパンで変化の中でやる方がいいのか、総合計画の上下関係なのか、並列なのか、その辺を確認させてください。</p> |
| 【事務局】 | <p>総合計画は全ての分野を網羅する計画です。総合計画の中にも将来像で未来を先取るという言葉がありますが、すべての分野の中から早く結果を出すものを分野横断的に出てきますが、それを総合戦略としてまとめていくという形です。</p> |
| 【原田市長】 | <p>総合戦略とは地方創生のことを言っています。内閣が変わると違う名前になるかも知れませんが、総合戦略とあるといかにも総合計画と同意に思えますが、総合戦略はプロジェクトベース、総合計画は市民生活全般に渡っています。どんな時代になっても、地方における総合計画は残ります。総合戦略については、プロジェクトを作って国に持って行って財政補助してもらえます。少なくとも総合計画で考えてもらえればいいです。</p> |
| 【野口会長】 | <p>資料3の左側、オレンジ色と緑色と青色があります。基本構想として、オレンジは人、真ん中はまちなみ、緑、自然、青色は市民力かと思います。部局横断型で議論とありますが、多様性といってもいろいろあるだけでは固まる傾向にあるので、有機的につながることが多様性の豊かさにつながると思うのですが、どうでしょうか。</p> |
| 【事務局】 | <p>今日、体系図を配らせていただきました。今ご説明した左が基本構想、右が基本計画になります。それぞれ体系的に組むと、分野ごとに多様なものが複雑に絡んでい</p> |

| | |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>く中を解決しなければなりません。そのため、3つ4つの分野が1つにまとめて、より横断的に議論をしていくことで、突破をしていくという進め方になります。</p> |
| 【野口会長】 | <p>ありがとうございます。奇しくもこの政策は全部で6つありますね。端的に言えば、政策1は子育てです。専門家として高橋美穂さんがいらっしゃいます。政策2は健康医療、福祉スポーツで、土屋さん、志村さん、澤木さんです。それから政策3都市環境まちづくりは、北井さん、杉保さん、高橋正則さん。政策4は、産業就労まちづくりで、岩間さん、鈴木康則さん、富田さん、廣田さん。政策5は、防災、交通安全、防犯で、杉保さん、そして僕でしょうか。そして政策6は幅広いです。協働、地域、歴史、国際交流なので、岩間さん、高橋正則さん。高橋美穂さん、ドアンさん、富田さん、永井さん、廣田さん。各専門家からお話が聞ければいいですが、今日残りの時間で、個々にやっていきかけたのですが、今事務局が仰った、これから全分野をクロスして、討議していきたいと思います。次回くらいからは、個別に深掘していくのが良いかもしれません。そういうことでよろしいでしょうか。ということは、皆さん全分野について発言しないとイケないので、結構大変ですが、よろしく願いいたします。</p> |
| 【杉保副会長】 | <p>一つだけ良いですか。資料3の左上の総合計画、総合構想、総合基本計画の関係を確認していきたいです。我々今から取り組むのは、後期基本計画、5年計画を作っていくということですので、基本構想は、固定しておいて、これを実現するために、この5年間何をするかを決めていくわけですね。今、前期の基本計画をやっていますので、前期基本計画の進捗状況ですとか、課題は次回以降にお示されるのでしょうか。</p> |
| 【事務局】 | <p>ただいまのご質問でございますが、前期基本計画が3年終わって、4年に入っております。3年まで終えたところの整理を今月来月に行いまして、次回以降の審議会で示させていただいて、3年と4年の途中まででございますが、3年半くらいの成果を皆様にお示しさせていただいて、今後につなげていく意見をいただくという方向でございます。</p> |
| 【杉保副会長】 | <p>どうしても、課題解決型でいかないと、基本構想の実現にアプローチできないので、是非その辺をしっかりお見せさせていただいて、議論を進めるようにお願いしたいと思います。</p> |
| 【野口会長】 | <p>ありがとうございます。今日の資料にある前期基本計画は、平成28年度から32年度の計画であり、どれくらい進捗したかを、これから検証していくという意味ですか。</p> |
| 【事務局】 | <p>はいそうです。毎年、検証していますが、今回は、後期に向けて、今3年半経ったところでございますので、ここまでのところをまとめて、次回お示しさせていただきます。</p> |
| 【野口会長】 | <p>第2次袋井市総合計画について、今日、一日かけて見てみました。非常にしっかりした計画をたてられているので、毎年毎年実現させていくのではないかと推察しますので、検証を楽しみにしています。今日のご説明いただいた、資料3、4をざっとご覧いただいた中で、特に皆さん気にされているのは、前期を別としても、3、4年前は、自分は、10年先、15年先を見通すのは難しかったわけです。この3、4年の間に流れも変わってきているとすると、資料の緑色のよう、10年先を見据えた社会潮流が、9項目で羅列しているのは、このブルーの時よりは、僕はもっとまとまってきてい</p> |

| | |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>るかと思ひます。ですから、今日ご意見をいただくのは、主に資料5の9つについて、皆さんに一番近い項目について、何かご意見いただいたほうが、具体的かと思ひます。それ以外のお気づきの点も是非言っていただければありがたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。それではどなたか発言をお願ひしたいと思ひますが、いかがでしょうか。よろしくお願ひいたします。</p> |
| 【杉保副会長】 | <p>今説明を聞いていて、私の印象に残ったのは、資料3の左側の中段にある、市民力という言葉と、私の専門なので、資料5の市民アンケートの地震災害とか、治水・治山が、かなり満足度が高いというのが非常にびっくりしました。他の市や町に行くと、地震災害というのは、まだまだという話で、満足度は非常に低いです。どこの市に行っても、重要度は高いです。ここまで満足度が高いのは、さすが袋井市だと、少しびっくりしました。それと、市民力というキーワードをくっつけていくというのは、これから防災を考えていくうえで非常に重要な姿勢だと私は思っています。去年の7月に、西日本大雨がありました。その時に行政がたくさん情報出しましたが、逃げ遅れた方が200人いました。犠牲になってしまいましたが、やはり市民が自分の住んでいるところのリスクをしっかり理解をして、行政の出す情報をうまく活用して避難をするという、市民力をつけていかないと、これからの防災は進みません。防災は限界になっていると国も認めているので、これからの防災のあり方は、市民力をいかに上げていくか、ということだと思います。ですから、防災に関しても、総合構想にある市民力の袋井市というところを、しっかり適応して、そういう取り組みを確実にすることで、防災の力をつけていくこと、それが非常に大事な視点だと、これを見て思いました。</p> |
| 【野口会長】 | <p>ありがとうございました。市民力は、建築とか土木で、コミュニティを形成するうえでも大事です。朝日新聞の座談会に参加したときに、津波対策で石碑に書いたのに伝わっていかない。それから世代間での減少。核家族化が結構進み、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に住んでいないと、中々伝わらない。コミュニケーションが出来ていないのが問題かもしれません。あとは、小さい子、高齢者、身障者を、どう見守って皆で助け合って逃げられるかというのが問われているのかと思ひます。そういう意味で、市民力というのは、楽しい時には良いのですが、いざという時に置き去りにしないように一体感を作れるといいと思ひます。ありがとうございました。他にいらっしゃいますか。</p> |
| 【高橋美穂委員】 | <p>三世代での防災について、子育て中のお母さんが力をいれていて、自助力、自分たちで自分たちを守る技術をつけるということです。もう一つが、やはり災害時に、女性の問題というのがあり、女性が防災を担っていく。そのために女性が、自治会やいろいろなところに入っていくということが必要だという話をしています。その辺の女性のリーダーを育てるところが、袋井市の方でももう少し提案していくといいかと思ひます。もう一つ、子育て、少子高齢化の若者の定住促進のところ、私が助産師として思うのは、子育て、妊婦さんというのは割とお母さんがターゲットとすることがあります。ですが、少子化のことを考えると、実はもっと前のことで、結婚をする、子どもを産みたいと思う心を育てていくというのが、すごく大切です。そのためには、教育と連携し、幼小中高と、そこに命の大切さやライフワークプラン、そういうところを一貫して教育としてきちんと入っていくというのが、すごく大事かと思っています。それがあって初め</p> |

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>て妊娠、結婚というところに進んでいくのかと思っています。子育てのところ、人口減少と教育との連携に力を入れていくとよいと考えています。</p> |
| 【野口会長】 | <p>ありがとうございました。大事なことです。この間、静岡県交通基盤部を訪問したら、土木を作るにあたってのいろいろな問題を話しました。静岡県は土木クラブを作っており、実は女性技術者の土木者も結構雇用していて、それを幹部に育てたいと仰っていました。避難所も男性ばかりで管理すると、女性や子どもの居心地に気がないというところがあります。女性の視点が避難対策などにも入る必要があると思います。子育てについては、結婚して子どもを産みます。そういう意欲も面倒くさいとか、経済的に大変とか言われます。そういうところをどうやって克服していくかが大切だと思います。ありがとうございました。次どなたかご意見いただけますか。どうですか。</p> |
| 【岩間委員】 | <p>資料5 市民アンケート調査で、商業の満足度が一番低いのが気になりました。雇用産業全般の項目に関して、満足度が低い方に分類されており、地域経済の観点から言いますと、市民の満足度をいかに上げていくか、が一つのポイントになっているかと思います。この中で、現状で、満足度が低いところを、どのように上げていったらいいのか、そこを考えていかなければいけないと思います。今回、多様性を強みにするまちということですので、性別、年齢、人種に関わらず、例えば、雇用の面とか、働き方の面で、平成の時代は、どちらかというと、女性活躍ですとか、女性に焦点を当てた政策が多かったのですが、令和に入ってから、これからは男性も女性関係なく、そういう働き方を目指すということを言っていますので、多様性を強みにするまちという観点から、雇用、商業、産業全般というところで考えていくべきだと思います。</p> |
| 【野口会長】 | <p>ありがとうございます。この市民アンケート調査のところの図は常に重要な結果と思います。今言われたことに加えて、市民の重要度は非常に低い分類で、ICTとか多文化共生、文化など、もう少し重要度を高めていく必要もあります。満足度、重要度も高いところは、袋井市が頑張っていて、消防とか危機管理とか、一番大事な水の問題とか、子育ても入っています。</p> |
| 【野口会長】 | <p>内在している問題で、多岐にわたる可能性があります。商業の思いも静岡商業高校も一千万程度の収入を得ていると校長から聞いています。新しくデジタルマーケットに変わる中で、大学もマーケットを研究しているだけでなく、商業に役立つ理工技術が必要です。若い人がベンチャーを恐れずに新しいことをやってくれば産業的にも袋井は豊かになると思います。</p> |
| 【北井委員】 | <p>人口減少については全国的に人口減少の中、袋井市は人口が増えています。県の中でも高齢化率は若い方に位置しています。少子高齢化が全国的に進んでいる中、若者も含め人が増えている等、元気なところもある地域です。去年の花火大会に参加させて頂いた際、男子高校生3人が「袋井市って最近いろいろやっているよね」と通りすがりの男の子が言っていました。強みも確認することも非常に大事だと思います。産業都市でもあり、農業ではメロンが世界的にも評価されていることもあり、高齢になっても働ける環境があるといった職住近接が実現しています。市民の方からすると当たり前になっていますが、ポジティブな面も皆さんの頭に入れておいてほしいです。</p> |

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【野口会長】 | <p>確かに袋井市は花火大会だけでなく若い人が参加するイベントは多くあります。私の大学ではSWOT分析を行っています。マツダのBe a DriverのようにBe a Citizenとして、袋井市の強みや弱み、機会をまとめていきます。オリンピックやラグビーのような機会も大変ですが、強みを強調していくと良いと思います。</p> |
| 【澤木委員】 | <p>アンケート結果の真ん中にある項目は、ある意味強みかもしれませんが、もちろん課題もあります。気になるのは重要度、満足度が低い分類で商業が最も低くなっています。商業施設の利便性が欠けているという事でしょうが、産業全般や観光、ICTをもっと強みにしていけないといけないと思います。資料にもあるように、社会潮流が変化していく中で、この5年の計画の中で、むしろ先取りをしていくべきだと思います。例えばICTやAIの活用をもっと積極的に採用し、人間的なコストを下げるべきです。ただ、危険なのは、子どもには触らせたくないです。子どもはリアルな教育を受けるので、順序を踏んで専門的なセクションに取り組めるようにすべきだと思います。産業時代なので電気自動車のEV等の新しい知識を持った人材を下請け企業に人材として利用し、AIが使えるなら徹底的に使い、時代先取りの計画を後期計画に組み込むことが大事だと思います。</p> |
| 【野口会長】 | <p>満足度、重要度が高いものをきっちりしながら、重要度が低いものをもっと満足度、重要度を高くシフトする方が有効だと思います。AIに関しては、データサイエンティストを来年度から大学で育成します。年間15名で作っても10年で150名なので、市民に広げていく施策が必要だと思います。</p> |
| 【志村委員】 | <p>保健の分野では、袋井市は特定健診の受診率が高く、行政がしっかり働きかけていると思います。介護の分野では、袋井市立聖隷袋井市民病院をはじめ、施設が充実しているおかげで、待機患者さんは比較的少ないと思われます。</p> <p>しかしその反面、医療の分野では、中東遠地区の医師数が不足しており、在宅医療が進んでいきません。毎日の外来業務で余裕が無く、その場を離れる事もできない等の理由から、今後ICTなどの利用により効率的に在宅医療を行い、これから到来する多死時代を乗り切る必要があります。</p> <p>また、ひっ迫している社会保障費に目を向けると、多くの症状を持つ高齢者やその家族を一人のかかりつけ医や総合医が責任を持って診療することで、多科受診やお薬の種類を減らしていくことも重要かと常々考えています。</p> |
| 【野口会長】 | <p>人間ドックは半分以上が受けて注意されていますが、食生活やストレスで3分の2以上の方が何かしらの症状が出ています。これらをどのように改善していくかが重要になります。医療費も問題となっており、私の大学では、お風呂に入っていて、危険を察知するデバイスを開発しており、インターネットに接続して病院に伝えるシステムを構築しています。今はアプローチでも転倒すると119番にかかる時代なので個々でICTを使って守る方法を考えるべきです。</p> |
| 【鈴木委員】 | <p>私は農業やっていますが、農家も少子高齢化ということで、若者が農業をやっているかなくなるという時代になっています。例えば、せっかくメロンのブランドを持っていてもクローンメロンの技術を継承するには、今の農家が頑張っ引き継いでいかないと、今後後退してく可能性があります。農家が自分たちの努力で次の世代につながないと</p> |

| | |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>地域の田園を守れないと思います。自分の子どもにも農家を選択してもらうように、20代の時に袋井市を選んでもらえるようなまちにしてほしいです。</p> <p>私も袋井市で生まれ育って、一度まちを出た人間ですが、袋井市に来て地元の小学校の友達に会ったり、地域の話をしたりすると、地域の具体的な健康・教育の政策をしていると思います。時代はグローバルな時代なので、世界に羽ばたく子や地域に戻って地域に貢献してくれる子もいると思います。私が良いと思うのは、地元で育ってきたときに、地元で恩返ししていくような子どもは、おじいちゃんの話大切な話として耳に留めていることです。親の話では聞かないことを聞けるのが良いと思います。</p> <p>私は自分の子どもに将来農業をしてもらいたいと思っています。そのために、袋井市での農業を選択してもらえるように、市全体のことで言えば、今の小学生たちが大人になったときに袋井市の産業が発展しているといいと思います。袋井市は住民サービスが大変すばらしいので、大学を出て就職をする、起業をする都市として袋井市が選ばれるような都市になっていけばと思います。</p> |
| 【野口会長】 | 農業を維持するための貴重なご意見だと思います。 |
| 【高橋正則委員】 | 資料を見た中で、市民アンケート調査結果が気になりました。たまたまいろいろな市の委員会に参加させてもらうのですが、私の地域は外国人が多い地域となっています。また、公共交通ということで、私の住んでいるところは市の真ん中で路線バスは通っていますが、市のバスは通っていません。先日も委員会に出席しましたが、袋井市の全体の公共交通は難しいという話になりました。住民の人が乗らないことが、維持が難しい要因だと思います。それと同時にまちづくり協議会ということで、コミュニティセンターを中心に地域編とありますが、公共交通含め内容を具体化しようとして動いています。アンケート調査の結果は少し上に行くことを目指してやっていただきたいです。 |
| 【野口会長】 | 重点的にやっていくなら自動車交通から脱却するためにバスや公共交通を固めるのは良いと思います。 |
| 【廣田委員】 | 資料3についてですが、基本構想はすばらしいと思います。製造業という視点から雇用を生み出す必要があります。そこから感じるのですが、今は人がいません。日々苦勞しています。特に東海地方は自動車産業があり、そっちに人が流れています。そういった中で、どの企業も同じように苦勞しています。どの企業も苦勞している中で、私たちは袋井市で生業を立てているので、子育てがしやすいといった地域での住みやすさをアピールし、地域として自分だけでなく社会の中で住みやすい施策があればと思います。 |
| 【野口会長】 | 市としてのシステム化を考えられると良いと思います。 |
| 【永井委員】 | 資料を拝見させていただいて、1999年から関わっていたのは公立の文化施設です。20年の中で変わってきたというのは、価値観を多様にして、いろいろな人を積極的に受け入れるということです。なので、文化庁管轄の助成金を文化施設に分配するという仕組みを作って、助成金を申請するという形で前向きに変化してきました。公立文化施設の行政の方の理解がないということで中々進展しませんでした。ここでは、横断的に考えようというところが安堵するところでありました。企業や集団の方は |

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>表現力があり、市民へのパフォーマンスや影響力があります。劇場の中で価値観が多様になっていくと、学生や子どもたちは、価値観を変えて人間を見るようになります。行政の方々が味方になり、専門分野の理解者になっていただけると重要度も上がっていくと思います。</p> |
| 【野口会長】 | <p>ありがとうございました。重要度が高く満足度が真ん中にあたりに、芸術、スポーツがあり、それが物から心の豊かさにつながるのだと思います。</p> |
| 【富田委員】 | <p>現在、人の確保が問題になっています。少子高齢化や人口減少ですが、袋井市は子育てにやさしいまち、育児がしやすいまちにこれからしてほしいです。コミュニティの満足度が高いですが、私はコミュニティが一番大事だと思います。一番危惧するのは、ネット化が進むほどコミュニティが希薄になっていく事だと思います。コミュニティが薄まり、子どもの社会力がなくなってしまいます。お互いがつながっていくコミュニティ力がすごく大事だと感じています。市民同士が触れ合う場、つながりを感じる場はこれからより大事になっていきます。新しくできる総合体育館で市民同士がつながる企画や試みができれば、メディアに取り上げられれば、市外の人に知ってもらえます。市民の声が伝わるような環境づくりがあると、市民の方の信頼が高まっていくのではないのでしょうか。</p> |
| 【野口会長】 | <p>コミュニティセンターをアクティブにするという話がありましたが、満足度が高いのでその点を活かしていくのがいいのではと思います。私の大学でもコミュニティで集まって楽しめる様々な世代が満足すると思います。その声がデータ化できると良いと思います。</p> |
| 【ドアン委員】 | <p>二点、お話したいことがあります。まず、国際人材について、4月から特定技能という新しいビザができました。ベトナムとはまだ話できていませんが、ちょうどG20が大阪で行われているので、ベトナムの首相が日本を優先しているといっています。それが本当であれば間違いなく外国人が増えます。そうすると、受け入れ体制が必要になります。</p> <p>2つめです。医療制度についてですが、日本の医療は素晴らしいと思います。ベトナムからも治療したい患者が多く訪れ、医療活動も行われているようです。しかし、私の知っている袋井市の病院は、外国人を受け入れないということがあります。妊娠した実習生もいますが、産婦人科で診てくれないという話がありました。通訳が同行しても断られました。医療制度やそういった決まりの話も役所に相談したいと思いました。</p> |
| 【野口会長】 | <p>多文化共生はお互いに助け合うという事なので、医療等の健康維持や生活していくための不便さを改善する必要があると思います。</p> |
| 【土屋委員】 | <p>袋井市の計画を見ていたときに全国の優れた健康づくりのシートを紹介したかったのですが、次回に持ち越させていただきます。一つお伝えしたいのは、今の国の健康づくりの施策は生活習慣病をターゲットにしていますが、そこから骨や歯、認知症の問題をしっかりとしないと2025年には団塊の世代の社会保障が成り立ちません。</p> <p>私が本日お願いしたかったのが、退職した後の男性の方がターゲットで、仕掛けづくりをもっとしていかなければいけません。そういった人たちは中々社会参加してくれません。例えば、社員食堂に地域の人が食べに行くといったような企画や民間の方の</p> |

| | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 力を借りて幅を広げていく仕組み作りが大事です。わたしは現在ビッグデータを管理・分析していますが、後期高齢者と介護ロボのデータが紐づけできます。そうすると地域ごとの健康の課題がはっきりします。今後は8050問題にもスポットライトを浴びせないと大変なことになるので、地域全体で一番大変な方も含め引っ張り上げてあげる必要があると思います。袋井市の取組では未来を先取りできると思います。日本一の健康・文化なのか健康文化なのかははっきりしていただきたいです。 |
| 【原田市長】 | 今回の様子を見てみると現状では時間足りないのではないかと思います。軽食を用意したり、土曜日に開くのが良いのか等意見があればお願いします。私は一番良いのは議論を交わすことだと思います。この体制で次回も続けると喋り切れないのではと思います。喋る時間があつた方が良いと思うので、6時30分以降で9時までには終わるようにしたいと思います。 |
| 【野口会長】 | お互いに分野を横断して行つたので長引きましたが、次回は2時間半を目途にしたいと思います。 |

7 事務連絡

| | |
|--------|--------------------------------------------|
| 【原田市長】 | 次回は6時半からでいいでしょうか。次回以降は2時間から2時間半の議論を予定します。 |
| 【事務局】 | 次回は市民公開をしようと考えています。 |
| 【原田市長】 | 本日の議論では言い足りなかったのではと思うので次回以降を楽しみにさせていただきます。 |

8 閉会

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------|
| 【事務局】 | 次回以降はテーマを絞つた形としますので、会長と事前に進行を相談して進めていきます。以上で本日の会議は終了です。皆様ありがとうございました。 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------|

以上